

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ. 計画・設計・施工の最適化 【3】 民間技術の積極的な活用 施策12】

広域監視型火災検知器（道路トンネル用）の採用

工事名：平成22年度 齒長山トンネル非常用施設工事

概要：【従来】25m監視型検知器（監視幅片側25m）

⇒ 【新】50m監視型検知器（監視幅片側50m）

効果：

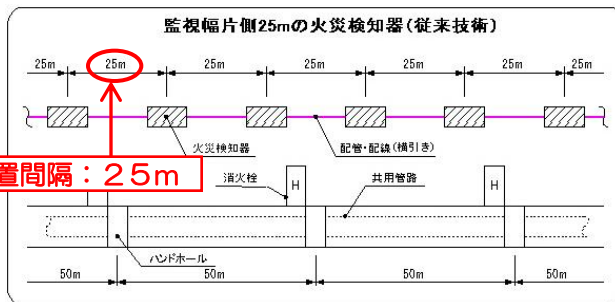
- ・ 広域監視型火災検知器を使用し、設置台数を削減しコスト改善を図った。
- 工事費を239百万円から217百万円に改善
（改善額 22百万円 改善率 約9%）



広域監視型火災検知器（NETIS登録番号：KT-100049-A）

従来型の検知器に対し、内部電子回路の設計変更等により信号増幅倍率の向上と電気的ノイズの低減が可能になり、検知性能が従来型の2倍の50mとなった。

従来：85台設置（トンネル延長2053m）



新：50台設置（トンネル延長2053m）

